

◎ 団体名

吉田町ボランティアセンター

◎ 団体紹介

吉田町ボランティアセンターは、2002年7月に「いつでも どこでも だれでも参加できるボランティア」を合言葉に活動をスタートしました。郡山城跡や公共施設の清掃活動を行う「クリーン作戦」、葉ボタンを町内に配布する「花いっぱい運動」のほか、ボランティア研修・交流事業、ボランティア派遣事業、災害ボランティアなどに取り組んでいます。また、広報活動として広報紙「ラブ丸通信」を発行しています。

◎ 令和5年度の活動状況

1 清掃ボランティア

① 公共施設の清掃ボランティアは、安芸高田多文化共生センターきらり(元安芸高田市少年自然の家)施設周辺の草刈り、落ち葉の清掃、溝掃除を5月14日と12月3日の2回実施しました。(参加者 53名)



「三矢の訓」碑周辺の清掃

② 印内地区の不法投棄ゴミの撤去作業は6月4日にボランティアセンターと地域住民が協力して実施し、トラック2台分のゴミをきれいセンターに運搬しました。(参加者 11名)

③ 毛利元就郡山城入城500年記念事業の「元就の里 山守プロジェクト2023」に参加し、人力で石を運び登山道の修復作業を行いました。(参加者 15名)



切断した危険木の撤去

④ 第17回安芸高田市ボランティア交流活動には、市内外からボランティア78名が参加して、郡山城跡の登山道周辺の倒木や危険木の伐採・整備と枯れ葉や落ち葉の清掃作業を行いました。(参加者 26名)

2 花いっぱい運動

2002年の吉田町ボランティアセンター設立以来、継続して毎年実施しています。8月に葉ボタンの種まきを行い畑に定植し、12月初旬に大きく育った葉ボタンをプランターに移植した後、紅白の葉ボタン約250鉢を市内30か所の公共施設などに届けています。年末の恒例行事として街角に彩りを添えています。

(参加者 31名)



葉牡丹の植え替え作業

◎ 成果と今後の課題

吉田町ボランティアセンターは、郡山城跡や公共施設の清掃活動、花いっぱい運動、災害ボランティアなどを行っており、活動を通して環境保全をはじめ、住みよい地域社会づくりに貢献できたと考えています。

高齢化が進み、地域活動の担い手が少なくなるなどの課題はありますが、企業の協力や若い世代の方の新規会員登録に加え、活動時には小学生を含め家族や高校生グループの参加も多くなるなど明るい話題も増えています。

今後は、広報誌「ラブ丸通信」や今回のまちづくり補助金で作成したボランティア募集リーフレットを有効活用して、会員募集に積極的に取り組み、ボランティア活動の輪を更に広げて行きます。



「ラブ丸通信」と会員募集リーフレット